

2025.8.21 (木)
第7回例会
(通算3816回)

2025-2026 年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「笑顔と誇りを胸に、挑戦するロータリー」

会 長 荒井 剛
副 会 長 池田 一己
幹 事 横田 英喜
編集責任者 クラブ会報・雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 三ッ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2025-2026 年度
国際ロータリーテーマ

『よいことのために 手を取りあおう』
UNITE FOR GOOD

2025-2026 年度
RI 会長 フランチェスコ・アレツツォ

第 2500 地区ガバナー
佐渡 正幸 (釧路北 RC)

本日のプログラム 中学親善硬式野球大会報告例会 / カルガリー国際大会報告 (青少年奉仕委員会)

次週例会 「クラブの未来に向けて / ガバナーの担いとは」 (理事会)

■ロータリーソング：四つのテスト ■ソングリーダー：三宅 康雄君

■会員数 108 名

■ビジター 国際ロータリー第 2500 地区第 7 分区ガバナー補佐幹事・中島仁美君、補佐幹事・工藤健司君
釧路東ロータリークラブ会長・佐々木勉君、幹事・大塚祐司君
釧路南ロータリークラブ会長・佐藤真之介君、幹事・小向健一君
釧路ベイロータリークラブ幹事・平野知子君。

■ゲスト 釧路リトルシニア球団監督・橘幸司様、〃 主将・杉山 生様

会長の時間 荒井 剛会長

お食事の方は
食事をしながら聞
いていただければ
と思います。

本日は、8月2～
3日にウインドヒ
ル東北海道スタジ



アムで行われました中学親善硬式野球大会の報告が前半の部にあります。その節は、第7分区ガバナー補佐幹事及び各クラブの会長の皆さま、ご出席いただきまして本当にありがとうございます。また今日の報告会にもこのようにたくさんの方がお越しいただきましてありがとうございます。

ロータリーが野球大会をやっているのは釧路だけではなくて、いろんな所で行われているように見受けられます。私が少し調べてみると、ロータリーが主催する野球大会といっても、ロータリアン自体が戦う野球の大会だったり、小学校だったり、中学校だったり、というのがあります。今回は中学生の野球大会ですので中学生を対象とする野球大会がどの程度あるのかを見てみたのです。実際に行われている地区は、各クラブが主催してやっていました。全国津々浦々、例えば山梨で行われていたり、沖縄の名護市でも行われていたりしています。ついこの間、1週間くらい前にも中学

校の新人野球大会が行われていました。そのほか、千葉でも行われております。

ただ、この野球大会のどれも軟式ボールを対象としていますので、そこが違っていると思っております。第7分区事業で行っているのは、あくまでリトルシニアを対象とした硬式の野球大会です。ロータリーが関係して硬式の野球大会を開催している大会はそんなではないかなと思っております。なので、第7分区で行われているこの野球大会は非常に貴重なものと思っております。

たまたま、私の娘も野球をやっているのですが、小学校時代に一緒にやっていた仲間がいま中学生になって、私も知っているメンバーも釧路リトルシニアにいたことからすごい楽しみにしていたところ、保護者の皆さまから「今年、ウインドヒル東北海道スタジアムでできることについて大変感謝します」という声をいただきました。「この大会をぜひ続けていただきたい」という声が多かったのです。ぜひぜひ、この分区事業は今後も続けていっていただければと思っています。ここから甲子園につながる、甲子園に出ている子たちもたくさんいます。現に今日、甲子園で準決勝やっています。甲子園が気になっている方もいると思いますけども、甲子園に行く選手を釧路から出したいという思いがありますので、ぜひ続けていただきたいと思います。

野球つながりでもうひとつ、お話をします。甲子園のことですけれども、野球少年は最終的に甲子園を目指したいと思っています。甲子園で野球をやりたいという思いは何も高校生だけではないのです。ロータリアンになっても「甲子園で野球をやりたい」という思いを抱いている人がどれだけ多いか皆さん分かりますか。実は、「全国ロータリークラブ野球大会」というのが行われております。これは、必ず甲子園でやるのですよ、必ず甲子園でやれるのです。

実は、これを40回やっておりまして、今年40回を迎えております。全国のロータリークラブの各地域から予選を勝ち上がって出ています。北海道でも毎年、だいたい2510地区に固まっていますけど何チームか出ています。

勝ち上がるために1日3試合やらなきゃいけないとかのルールがあります。年齢は45歳以上ではないと絶対ダメだとか、プロはバッテリーを組んではいけないとか、いろいろなルールがあるのですが。

この第1回全国ロータリークラブ野球大会がいつ行われたかということ、昭和56年です。当時、西宮甲子園ロータリークラブの会員で阪神タイガースの社長だった小津正次郎さん、この方がロータリアンだったのです。その方の計らいで、第1回から今に至るまで永遠と続いているということになります。

2500地区からは、残念ながらチームとして出ていないのです。副幹事の日理さんも野球少年だったし、私も野球少年です。いま小野寺さんが「出ますか」という話をされましたけども、出たいという方がいたら、チームを組んで、ぜひこれにチャレンジしたいと思います。今年のモットーは「挑戦」ですので、甲子園への挑戦という思いを持ちました。このことをお伝えして、本日の会長挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

幹事報告 横田 英喜幹事

幹事報告をさせていただきます。会員の皆さんには「地区大会のご案内」をメールまたはFAXで流れているかと思います。10月24日の釧路ナイトから26日日曜日のチャリティーゴルフ大会まで出席を促しております。出欠の締め切りが明日になっておりますので、まだ出欠を出していない方は早めのご連絡をお願いいたします。

あと2つあります。釧路クラブの地区補助金の事業で「釧路湿原の魅力を再発見する学びのツアー」は補助金の認可がおりましたので、予定どおり10月4～5日で開催を予定しております。皆さまのご参加をよろしくお願いいたします。

北ローターアクトクラブから釧路クラブに案内がありました。案内の内容としては、10月4日土曜日、先ほどの補助金事業と重なるのですが、「ローターアク

トクラブの地区協議会」が釧路キャッスルホテルで開催されます。興味のある方、参加希望される方は横田までよろしくお願いいたします。

最後に例会終了後、理事会を開催いたしますので、ホテル館3階の雪の間に理事の方はお集りいただければと思います。以上となります。

新入会員紹介

スポンサー 白幡 博君



新入会員のご紹介をさせていただきます。倉見悠介様です。倉見さんは前任のN T T釧路支店長だった沢田さんの後任として、7月1日を

もって釧路に着任しております。

先ほど初めてお会いしましたが、まだ44歳ということで若い非常にフレッシュな支店長として着任をされております。出身は東京都でして、奥様も現在は東京にいらっしゃるということで単身赴任ということになります。先ほどの話の中でサイクリングが非常に得意というよりも好きだということで、この道東の非常に景色のいい所をしっかりとサイクリングして行きたいという思いもあるみたいです。

お酒のほうも皆さんとお付き合いできる形になっておりますので、ぜひ夜の例会については、その後の二次会についても一緒に行動していただければと思います。

最後に、まだ着任したばかりですので、皆さんのほうから名刺交換を積極的にしていただくようお願いをしてご紹介とさせていただきます。

それでは倉見さん、よろしくお願いいたします。

新入会員

東日本電信電話株式会社北海道東支店釧路営業支店長 倉見 悠介君

皆さん、こんにちは。ただいまご紹介に与りました、倉見悠介と申します。

まずは、先ほどご紹介いただいたのですが、若輩ながらこの歴史と伝統ある釧路ロータリークラブにお招きいただきまして誠に感謝申し上げます。ありがとうございます。

私は、元々東京出身で6月まで東京都内で勤務をしておりました。こういった場で喋る機会もほとんどなくて、皆さんに見られていることにとても緊張している



のです。東京出身、東京生まれで、20 年勤務をして初めて転居を伴う転勤ということで7月に釧路にやってきました。現在は単身赴任をしております。北海道も勤務としては初めてです。ましてや、お恥ずかしながら道東には旅行等でも来たことがないものですから、いまはメンバーと一緒にいたり、自分でママチャリの自転車で走り回ったりして地域に触れ合っています。運転免許もペーパードライバーなもので、車も手元にないですし、いま運転してしまうと各種多大なるご迷惑をかけてしまうので、免許のいない自転車にシラフで乗っております。そんな形になりますので、まだまだ皆さんと比べて経験も浅いですし、知っていることも少ないので、ぜひともいろいろお教えいただければと思います。また、単身赴任で一人住まいですので夜はいたって暇です。何かあればぜひお誘いいただきたいと思います。すみません、くだけてしまったのですが、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

歓迎の一言

荒井 剛会長

倉見さん、入会おめでとうございます。私も元々釧路出身ではなかった者です。初めて北海道を訪れたのが釧路だったので、釧路で一年間ホントに好きなこととしてたくさん遊んだ記憶があります。その結果もありまして、今でもずっと釧路に住んでいるとなります。ぜひぜひ釧路ロータリークラブの例会に参加していただいて、多くの方がいますので交流を深めていただいて、釧路大好き、大好きになっていただきたいと思っています。本当に入会おめでとうございます。配属委員会は親睦委員会になっています。よろしくお願いします。

■本日のプログラム■

中学親善硬式野球大会報告例会 / カルガリー国際大会報告

青少年奉仕委員会 岩田 信一委員長



皆さん、こんにちは。青少年奉仕委員会委員長の岩田です。よろしくお願いします。中学親善硬式野球大会の報告をさせていただきます。最初に佐藤君が作っていただきました大会の動画をご覧ください。

(動画上映)

ありがとうございます。

続きまして、釧路リトルシニア球団橘幸司監督からご報告いたします。よろしくお願いします。

釧路リトルシニア球団監督・橘 幸司様

皆さま、こんにちは。ただいまご紹介いただきました釧路リトルシニア球団監督の橘と申します。本日はお招きいただきありがとうございます。



今年も全道中学親善硬式野球大会の開催に向け、ご尽力いただきました皆さまに感謝申し上げます。ありがとうございました。

特に昨年より「ウインドヒル東北北海道スタジアムで試合をさせる」と宣言していただいたパパ友である横田様に感謝申し上げます。ありがとうございます。

大会は今回で16回目となりました。参加は札幌新琴似、札幌真駒内、岩見沢、旭川西、日高、とかち帯広、大空、釧路の8チームでした。DVDでご覧いただいたとおり、優勝は大空チーム、準優勝はとかち帯広チームでした。毎年DVDを作成していただいております当球団OB保護者の佐藤様、いつもは旭川志峯の応援で忙しいところ、どうもありがとうございました。当球団はここ数年、初戦敗退となっております。大会のレベルが上がっていることの表れではあるかと思いますが、来年は何とか食い込めるように頑張りたいと思います。

参加いただいたチームからは、「なんとか人工芝のきれいな球場で試合がしたい」との声が聞かれていましたが、サブ球場も利用したため叶わないチームもございました。今回はウインドヒル東北北海道スタジアムとサブ球場での大会、2会場でできたため、釧路工業高校さんをお願いをして2日目にエキシビジョンマッチの会場として、お借りすることができました。初日で敗退したチームも翌日にゲームをして、ご満足いただける形でお帰りいただくことができました。

余談ではありますが、現在、夏の甲子園が開催中であります。リトルシニア北海道連盟の所属選手が各高校で総勢28名がベンチ入りしております。ベンチ以外を含めるともっと増えてかなりの数になるかとは思いますが、いま結果は分かりませんが、山梨学院にも札幌新琴似チームの選手が入っています。当球団のOBでも、健大高崎の下重賢慎と旭川志峯の古関将伍の2名がベンチ入りを果たしました。ありがとうございます。

今後も本大会を開催していただき、中学硬式野球の発展と野球人口の増加、釧路地域の野球の底上げの一端

を担っていければと思っております。来年以降も全道中学硬式野球大会の開催に向け、皆さまのご理解ご協力をお願いいたします。

また、当球団は現在3学年32名で活動しております。地方の阿寒、浜中、厚岸、弟子屈から通う選手もおります。新入団員は随時募集しておりますので、皆さまの近くに野球が好きな少年少女おられましたら、ぜひご紹介いただければと思います。

本日はどうもありがとうございました。

釧路リトルシニア球団主将・杉山生様



皆さま、こんにちは。釧路リトルシニア球団主将・杉山生です。本日はこのような場にお招きいただきありがとうございます。

今年は全道中学親善硬式野球大会を開催して下さったロータリークラブの皆さま、本当に感謝申し上げます。

今大会では悔しい結果となってしまいましたが、チームメイトと一緒に釧路の地で野球ができたことを嬉しく思います。普段、観戦することができない方々にも観戦していただき、僕らにとって忘れられない思い出になりました。

そして、リトルシニアで学んだ礼儀挨拶の大切さなどをこれからの生活に役立てたいと思います。

今後、釧路の野球人口の増加を願うと同時に自分自身、野球をとおしてさまざまな経験をして成長していきたいと思います。

これからも釧路リトルシニアの応援をよろしく願います。本日はありがとうございました。

国際ロータリー 2500 地区第7分区

ガバナー補佐幹事・中島 仁美君



ご紹介に与りました釧路北ロータリークラブ、本年度ガバナー補佐幹事を務めます中島です。

本日、平澤ガバナー補佐が佐渡ガバナー

と帯同して北海道を回っていることで、挨拶文をお預かりしてきましたので代読させていただきます。

本日は、釧路ロータリークラブの全道中学親善硬式野球大会の報告例会にお招きいただきありがとうございます。現在、佐渡ガバナーとともに2500地区内クラブの表敬訪問に随行しております関係で、本日は皆さまと直接お会いできず心より残念に思っております。

さて、8月2日に開催されました第16回大会は、釧路クラブの皆さま、そして第7分区各クラブの多大なるご支援とご協力のおかげで、無事に成功裡に幕を閉じることができました。大会関係者の皆さま、ご協賛いただいた企業・団体の皆さま、選手、指導者、保護者の皆さま、そして中心的役割を担っていただいた釧路ロータリークラブの皆さまに心より感謝を申し上げます。

釧路における中学生による硬式野球の大会はまれであり、地元選手にとっても自身の実力を試す絶好の舞台です。また、大会での経験を通じて、心身ともに成長し、将来、釧路の高校で即戦力として活躍する選手が多く育っていることは我々にとっても誇りであり、地域の競技レベル向上に大きく寄与していると実感しております。

また、約200名の参加者が釧路に滞在することによる経済的効果も見逃せず、スポーツと地域振興が密接に結びついていることを改めて感じている次第でございます。

このような素晴らしい大会を継続していくことは、青少年の健全育成はもちろん、地域全体の活性化にもつながります。今後も第7分区各クラブ皆さまの力を集結させ、この大会をさらにより良いものへ育てていけるよう、私たちも活動してまいりたいと思います。

結びとなりますが、改めて大会の成功にご尽力いただいた釧路ロータリークラブの皆さまをはじめ、すべての皆さまに感謝を申し上げ、第7分区ガバナー補佐としてのご挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございました。

青少年奉仕委員会 岩田 信一委員長

ありがとうございます。以上、中学親善硬式野球大会の報告をさせていただきました。

当日、参加していただいた皆さま、応援していただいた皆さま、感謝申し上げます。ありがとうございました。

「カルガリー国際大会報告」

クラブ会報・雑誌・公共イメージ委員会

八幡 好洋委員長



カルガリー国際大会に参加をした報告をさせていただきます。よろしく願いいたします。

先月に開催されたカルガリー国際大会に参加してまいりました。こちらにモニュメントがあります。ブルー・スカイ・シティが左側にあります。カルガリーは非常に天気がいい所

で雨が少ないと言われていて、釧路に似た雰囲気の街だと感じました。荒井会長と横田幹事と参加させていただきました。

今日は、「Why Calgary」「How About」「What Happening」の三つに絞って話させていただきます。

まず、「Why Calgary」。なぜ、カルガリーに行ってきたの？という話です。昨年の4月に地区協議会が帯広でありました。オンツー・カルガリー委員会の菊地委員長が「皆さん、一緒にカルガリーに行きましょう」とプレゼンをしていただきました。そのプレゼンがユニークで面白いものだったので興味を持ちました。僕は入会間もないので国際大会はどのようなものか全く知らない中で、単純に面白そうだから行ってみたいとその報告会のような所で話したら、荒井会長から「八幡君、本当に行く？」と声を掛けていただきまして、「ぜひ、行ってみたいです」と話したところ「行こう、行こう」となって、横田幹事も一緒に行くことになった経緯があって参加させていただきました。

行ってみてどうだったかです。写真を中心にご紹介させていただきます。これは、バンクーバー行の飛行機に乗る直前の所です。羽田から太平洋を越えてバンクーバーまでの長いフライトでした。空港に到着すると、現地の方々のお出迎えを受けて「困っていることはないか」などと声を掛けてくれて、話をするバッチをいただけるおもてなしがありました。

ホテルはすごくいいホテルでした。大会登録を済ませた後の流れがよく分かっていなくて、ホテル予約もよくわからなくて、ロータリーから紹介されたサイトで予約をしたのですが、僕たちは遅かったので会場に近いお手頃のホテルは全て埋まっていて、中心地から車で15分くらい離れた場所で予約していました。プールが付いたいい感じのホテルで良かったのです。オッサン二人で入っているだけではアレですけど。いい感じのスパもあって、会長はここでもランニングをされています。朝食もいい感じでした。

カルガリーの隣にバンフという国際的に有名なスキーリゾートがあります。荒井会長が手配していただいたツアーで参加してきました。とてもきれいな「ザ・カナダ」みたいな感じの所を見せていただきました。サーモンは非常に美味しかったです。

関係ないですが、サイバートラックが急に乗りつけて来たりして、さすがに海外だなという雰囲気を感じました。街並みもすごくおしゃれです。カルガリーの街中はアートな物がたくさんあって、とてもユニークでした。これは「プリングルス」、スーパーで売っていて「カナダ限定味」と聞きましたので、これをお土産用に使って来たのですが、持ち帰ったら中が粉々になってお土産には向いていないということがありました。

先ほど、「ブルー・スカイ・シティで晴れが多いです」

と言いましたが、残念ながら雨に当たってしまいました。瞬間的に大降りの日もありましたが、主要なプログラムのところでは天候が持ってくれて、不幸中の幸いで天候には恵まれました。

これ、明るいのですが、実は結構な夜なのです。夜な夜な徘徊している感じですが、緯度が高いので夜になっても昼間が続く状況で、不思議な感じがありました。

地元の有名な所でカルガリータワーです。ありがちな、ローカルな雰囲気のあるタワーに行ってきました。海外のサブウェイを始めて買って食べました。いろいろ勉強になったことがありました。

北海道ナイトです。北海道のロータリアンが集まる会合があり、参加させていただきました。

地元のカナダの先住民族のインディアンの方々がロデオを行うイベントをロータリーの大会に合わせて開催されていました。鞍が付いていない裸馬が4頭くらいいて、それを1周するたびに乗り替える、飛び乗って・飛び降りて・飛び乗ってと、曲芸みたいな本格的なロデオをやっていました。僕は、このようなものが開催されているとは知らなかったのですが、荒井会長が「せっかく来たのだから、見に行こう」となり参加させていただきました。滅茶苦茶寒い中で3時間くらい見ていました。とても寒いと思ったのですが、それでも見る価値のある素晴らしいものでした。

翌日の朝、日本人朝食会がありました。「R I 理事主催親善朝食会」が正式名称です。ステファニー会長が来たり、会長エレクトのフランチスコ・アレツォ会長も、多分1週間前に決まったばかりらしいですが来たりしました。

会場もロータリー一色になっていて、いろいろな国の方がたくさん来ていました。パンケーキが振舞われていたので、これも食べてまいりました。観覧車がありました。よく見ると真ん中がロータリーのマークになっているみたいです。こんなことができるんだ、と。ここが開会式などのメイン会場です。アイスホッケーのスタジアムで、割と歴史のある古いスタジアムなのです。かなり大きいスタジアムで、このようなスタジアムが地元にあるのもいいなと感じました。日本の国旗が写っていますが、参加した国が1カ国ずつ紹介されて、そのたびに国旗が揚げられ「入場」となります。国の紹介だけで1時間くらいかかりました。その後、ステファニーさんのコスプレみたいなお茶目な一面も見えておりました。

最後の晩餐です。ここも、荒井会長お薦めの美味しい店があるというので行ってきました。街中はロータリアンであふれていていろいろな人たちがいたのですが、街から外れた郊外のホテルだったのでホテルの周りにはロータリアンらしき人が少なくて、地元の人が多いのです。さらに、その紹介の店はすごく混んでい

るのです。地元の人がよく行く、地元の人に評判な店で雰囲気も良くてすごく美味しかったです。夕食の時間ですが外はまだ明るいのです。緯度が高くて昼間が長いので夕食の時間帯でも昼間のように明るいのです。あえてブラインドを閉めて、お店の中を夕食の雰囲気で演出していたのです。文化の違いとか、場所が変わると違いがあるのを感じました。「さらばカルガリー」です。最後は空港で集合写真を撮って終わるという流れでした。

ハプニングは旅の常であります。

ハプニングその1です。ホテルを予約するのに苦戦したので、1ベッドルーム1室と2ベッドルーム1室で、3人分を予約していました。ホテルに到着したら、僕が予約した「2ベッドルームは取れていない」と言われました。3人が行っているのに1ベッドルーム1部屋しかない。「そんなはずがない」と予約を取った時のメールを見せたのですが「取れていない」となってしまう、困ってしまいました。

ホテルの人は親切な方で、「キングサイズのベッドなので2人は泊まれる。そこにエキストラベッドを入れたら3人泊まれるぞ」と。いいんだか、悪いんだか、とりあえずそれで行くことにしました。

ここで、部屋割りならぬベッド割問題が起きて、誰がどっちで寝るのかになりました。僕がペイペイだったので覚悟して「どちらでも大丈夫ですよ」となったのですが、なぜかこのような形になりました。「どうして、こうなった？」です。

そうしたら電話が来て、「部屋の予約は取れていました」となりました。僕が日本語への翻訳サイトで予約した時に文字化けが起きていたようです。僕の「YAHATA」という名前が予約の名簿に入っていないくて、文字化けで「??? YAHATA」標記となっていて確認が取れなかったけど、「予約番号から確認ができた」となって、2部屋が取れて無事に添寝することなく過ごせました。長い期間でしたから添寝はキツイと思っていましたが大丈夫でした。

ハプニング2があります。「さらばカルガリー」ということで、空港で荷物を預けて飛行機に乗ろうと思って写真を撮って、搭乗ゲートに入ろうと思った時に「あれ、携帯電話がない」となりました。荷物に入れて預けたのだらうとかいろいろ考えたのですが、「さっきまで持っていて、車の中?」。ホテルから空港まで移動中の車・ウーバーの中に忘れたのではないかなって、「これは大変だ、どうやって探す」と三人で知恵を絞りました。

アイホンなので「アイホンを探す」機能があるのでその機能を使おうと思ったのだけれど、アップルアカウントのパスワードが分からない。ウーバーに問い合わせようとなつて、問い合わせたのですがウーバーは不親切で、メールの問合せのみで電話窓

口はありません。メールで「忘れ物をしました」と送ると、「問い合わせを受け付けました。返事には2～3日かかる場合があります」と。意味ないじゃないか、です。

3人で30分くらいメチャメチャ考えたのですが、どうにもこうにもダメで、さすがに飛行機の時間もあるし諦めかけた時です。なくなったのは横田さんの電話だったので、落ち込んで「迷惑をかけて申し訳ない。諦めます」となった時、30分くらい経ってからですが、ふと「あれ、電話をするといいいのでは」となつて、電話をしてみたのです。電話に出たドライバーの方は「あるよ。時間が経っていたから空港から離れたので、今から行くから」となったのです。「早く来ないかなあ」と一人待つ横田さんです。

そこに来たドライバーに駆け寄る横田さんです。引かれる勢いで駆け寄っています。無事にゲットしました。すごく親切なドライバーさんで、行く途中も「日本から来たのか、日本はいいよね」と声を掛けてくれた方でした。

いろいろトラブルもあったのですが、海外に行くことで出会えるいろいろな文化がありました。ぜひ機会があったら国際大会に参加してみたいと思いました。ぜひ、皆さんも一緒に参加しましょう。

以上です。ありがとうございました。